



福島原発事故の放射能漏出量が広島原爆の20倍であり、

広島原爆が10年後に10分の1に対して、福島原発が1000年で10分の1という漏出規模が、どのようなスケールのものかを視覚化。縦軸に量、横軸に時間。

広島原爆の場合、エネルギーは一瞬の熱線と短期間の放射線で、死傷者の多くは、この一瞬の熱線と短時間の強い放射能によるものである。

一方、福島原発の場合は、広大な範囲に、膨大な量の放射性物質が拡散したもので、被害の性格は全く異なる。この膨大な放射性物質が一つの塊であれば、閉じ込め、遮蔽することができるが、粒子となって拡散したので、どこにどのように集積するのかわかならという事態である。